



# 手すり照明 (アーキレール)

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。  
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

## ■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

### ■安全に関する記号と説明



警告

・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。



注意

・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

### ■情報に関する記号と説明

お願い

・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。

・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

### ■ねじ等の締結部品の記号

ねじやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2a等)  
締結部品の種類は「**■梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## □ 施工の前に

### ▲ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ねじは当社純正品の指定本数を使い、下記締付トルクで固定した後に緩みがないか確認してください。  
<推奨トルク>  
φ4ねじ: 1.2N・m±0.5N・m (12±5kgf・cm)  
M5ねじ: 1.2N・m±0.5N・m (12±5kgf・cm)  
M6ねじ: 2.4N・m±0.5N・m (24±5kgf・cm)
- 鋭角に曲げないでください。  
※最小曲げ半径は300mmです。



- 踏みつけたり、発光面を強く押さないでください。

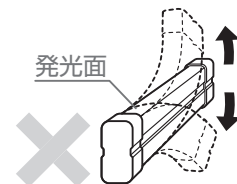
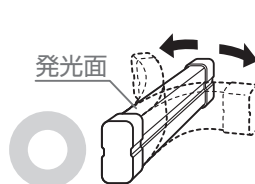


- 両面から追い込みをしないでください。(レールへの取付時)



### ▲ 注意

- ねじったり、強く引っ張らないでください。
- 曲げる方向に注意してください。



### 施工前のお願い

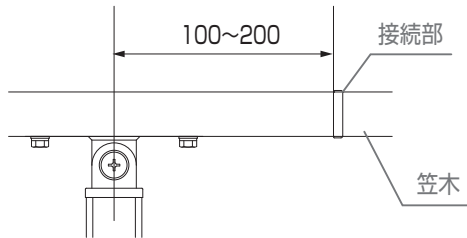
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工場所の寸法に製品が正しく納まるか確認してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## 施工上のご注意

### ▲ 注意

- ねじは当社指定品の指定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- ストレートジョイントにて接続した部分から100mm以上200mm以内の位置に柱がくるようにしてください。適正な位置で固定されていない場合には、強度不足やガタツキが生じて危険です。



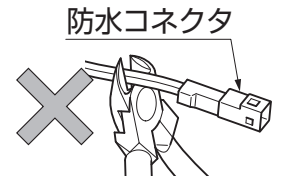
### 施工上のお願い

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。

## 電気配線工事について

### ▲ 注意

- DC12V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電の原因になります。
- 別売りの当社製トランス電源ユニット・電源ケーブルと組合わせて使用してください。
- 防水コネクタを切断するなどの加工は行わないでください。故障・感電のおそれがあります。
- 施工作业中は通電させないでください。故障・感電のおそれがあります。


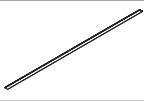



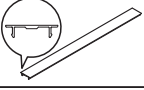
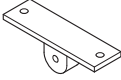
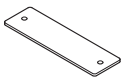





## 施工チェックシート

※施工時に下記を必ずご確認ください。この項目を守らないと不具合発生につながります。




No.	確認項目	施工後チェック (○/×)	不具合現象
1	灯具切詰め時は当社指定のシーリング材、接着剤を使用しましたか？		水の浸入による不点灯の原因になります。
2	灯具の防水コネクタは切断していませんか？		故障や不点灯の原因になります。


# 梱包明細表


【1】笠木					
名 称	略 図	員 数			
		端部用	中間用	中間 2スパン用	中間 3スパン用
笠木		1	1	1	1
溝ふさぎ材		1	1	2	3


【2】角柱(埋込用)		
名 称	略 図	員 数
角柱		1
柱化粧材		2 (※1)
笠木取付ブラケット		1
笠木取付裏板		1
【2a】M5×12十字穴付き六角ボルトWセムス		2
【2b】M4×8 ナベ小ねじ		1
【2c】M6×20トラス小ねじ		1
【2d】M6平座金		1
【2e】M6バネ座金		1


※1 側面ベース柱用の柱化粧材は、大、中、小の3種の長さのものが各1本づつ同梱されています。

【3】丸柱(埋込用)		
名 称	略 図	員 数
丸柱		1
笠木取付ブラケット		1
笠木取付裏板		1
【3a】M5×12十字穴付き六角ボルトWセムス		2
【3b】M4×8 ナベ小ねじ		1
【3c】M6×20トラス小ねじ		1
【3d】M6平座金		1
【3e】M6バネ座金		1

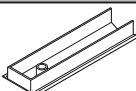

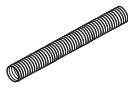

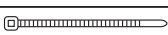
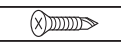
【4】スリムシームレスラインライト 端部		
名 称	略 図	員 数
スリムシームレスラインライト 端部		1

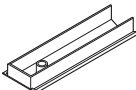

【5】スリムシームレスラインライト 連結		
名 称	略 図	員 数
スリムシームレスラインライト 連結		1

【6】アーキレール用レール		
名 称	略 図	員 数
照明レール		1

【7】スリムシームレスラインライト 切詰め用キャップ		
名 称	略 図	員 数
スリムシームレスラインライト 切詰め用キャップ		1

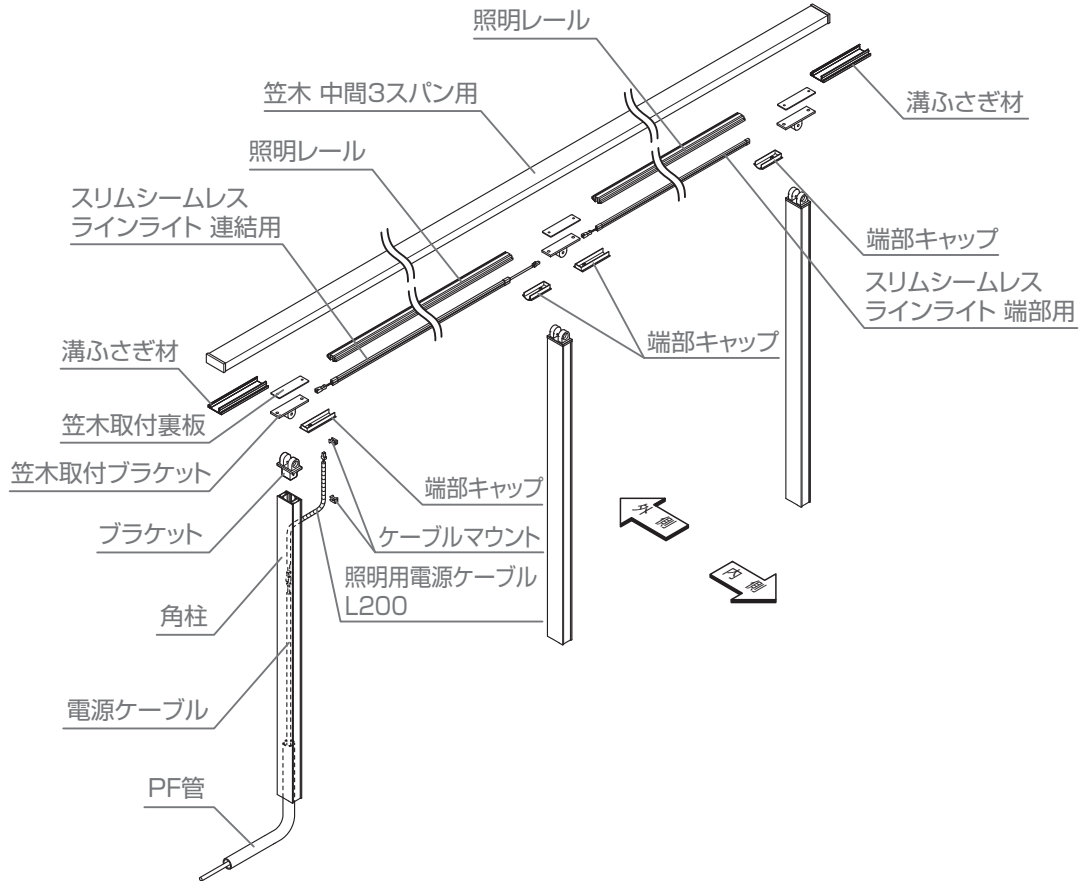
※追加手配が必要な場合

【8】アーキレール照明用部品セット		
名 称	略 図	員 数
端部カバー		2
ケーブルマウント		2
コルゲートチューブ		1
グロメット		1
照明用 電源ケーブル L200	-	1
インシュロック		2
【8a】φ4×25サラダドリルねじD8		3
取付説明書<EXM-246>	-	1
取扱説明書<UZ287>	-	1

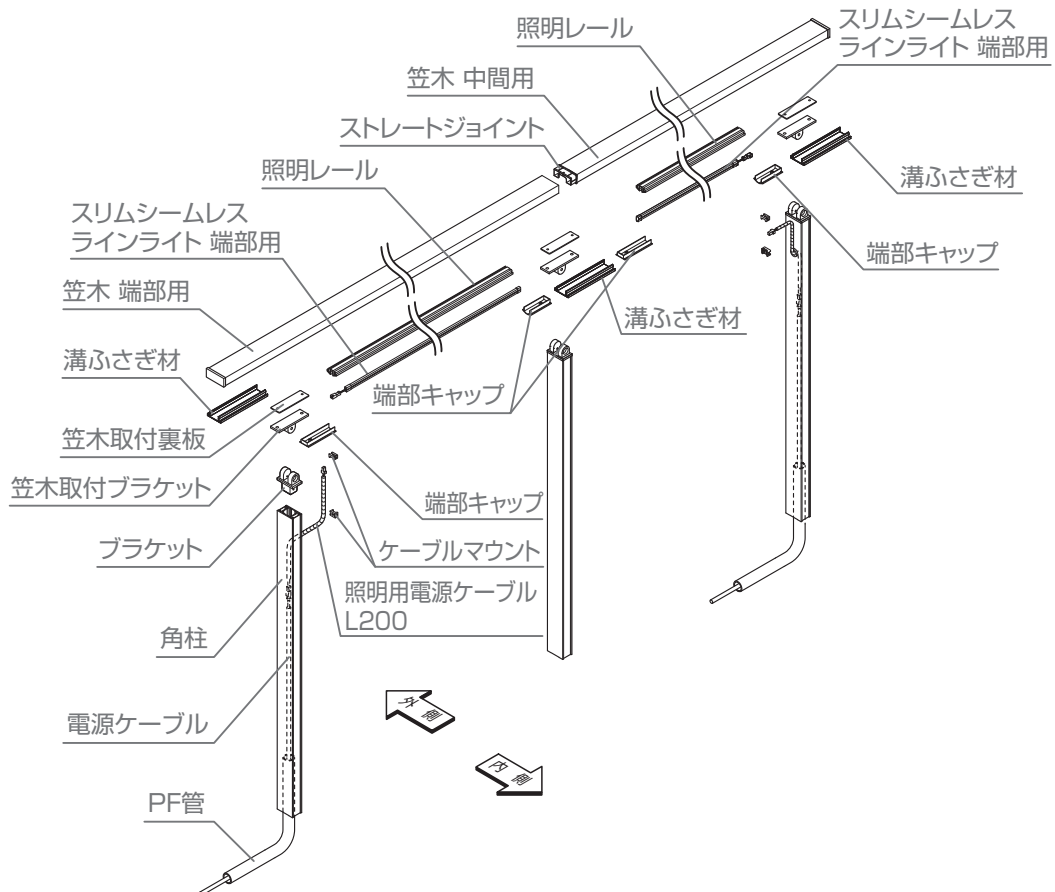
【9】アーキレール照明追加部品セット		
名 称	略 図	員 数
端部カバー		2
【9a】φ4×25サラダドリルねじD8		2

# 各部の名称

## □ 2スパン (ストレートジョイントなし、中間3スパンを切詰めて使用)



## □ 2スパン (ストレートジョイントあり)

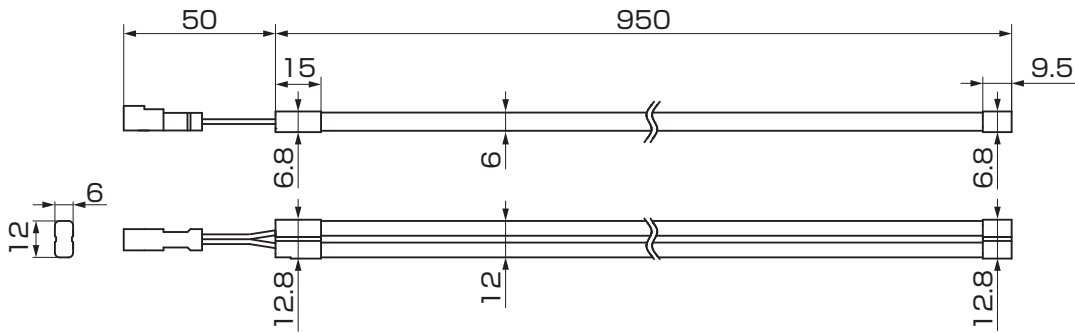


### 施工上のお願ひ

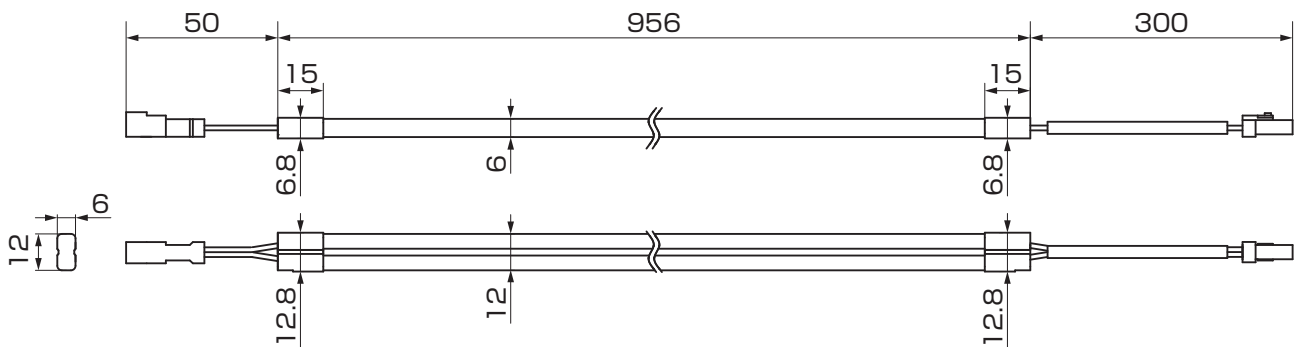
●照明は最大3スパンまで連結可能です。

# 基本寸法

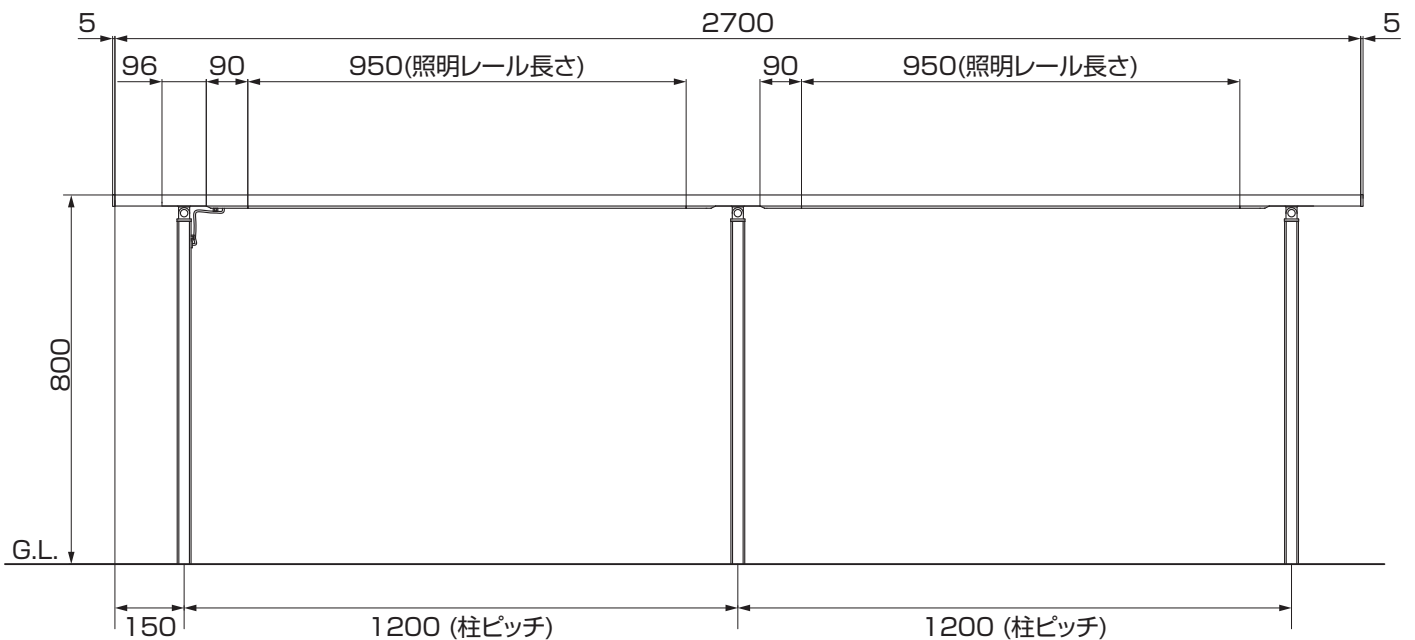
## □ スリムシームレスラインライト 端部用



## □ スリムシームレスラインライト 連結用



## □ 2スパン (ストレートジョイントなし、中間3スパンを切詰めて使用)

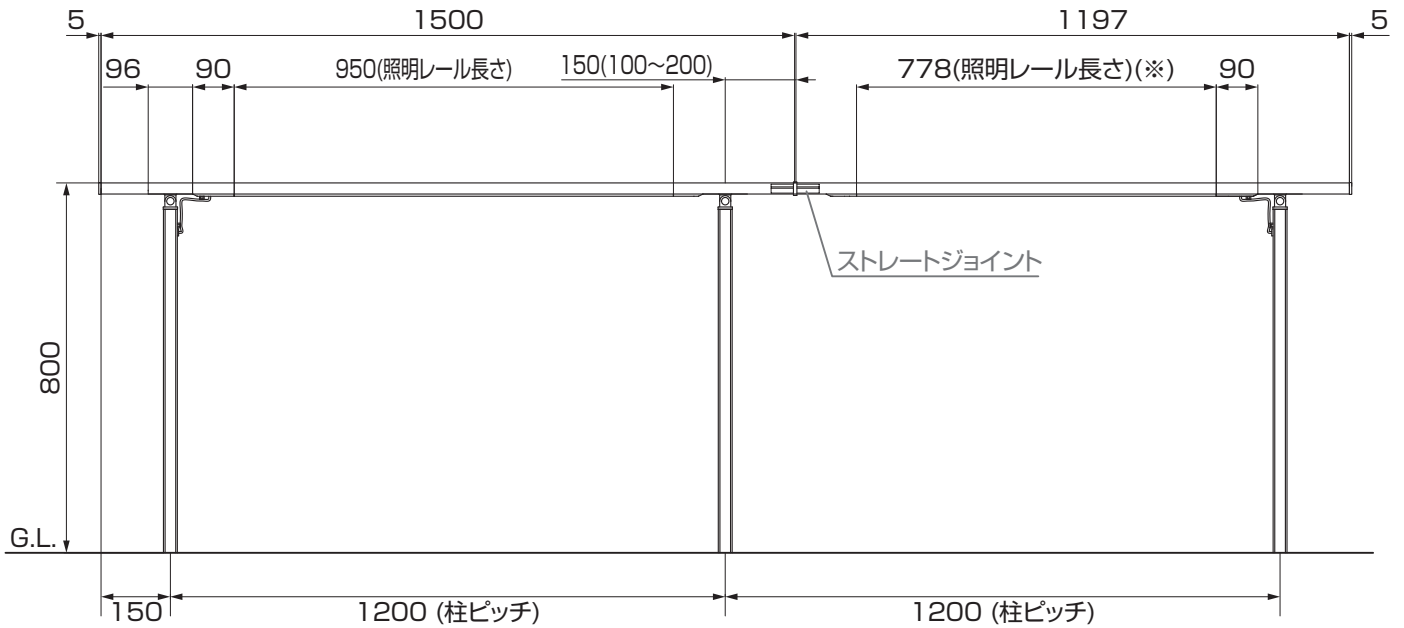


### 施工上のお願い

- 照明は最大3スパンまで連結可能です。
- 照明は端部用のみ現場切詰めできます。
- 現場切詰め品となりますので、現場仕様に合わせてカットしてください。(※)
- 規格(柱芯々寸法1200mm)ピッチ以外で施工する場合は **8 照明の切詰め** を先にご確認ください。

## 基本寸法

### □ 2スパン (ストレートジョイントあり)



#### 施工上のお願い

- 照明は最大3スパンまで連結可能です。
- 照明は端部用のみ現場切詰めできます。
- 現場切詰め品となりますので、現場仕様に合わせてカットしてください。(※)
- 規格(柱芯々寸法1200mm)ピッチ以外で施工する場合は **8 照明の切詰め** を先にご確認ください。

## 配線参考図

1: 現場に合わせて配線・配管を敷設してください。

- 埋設管は必要な長さで切り落とし、端部ブッシングを取付けまたはパテ埋めしてください。

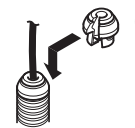
※ブッシングとケーブルのすき間はビニルテープで防水処理をしてください。



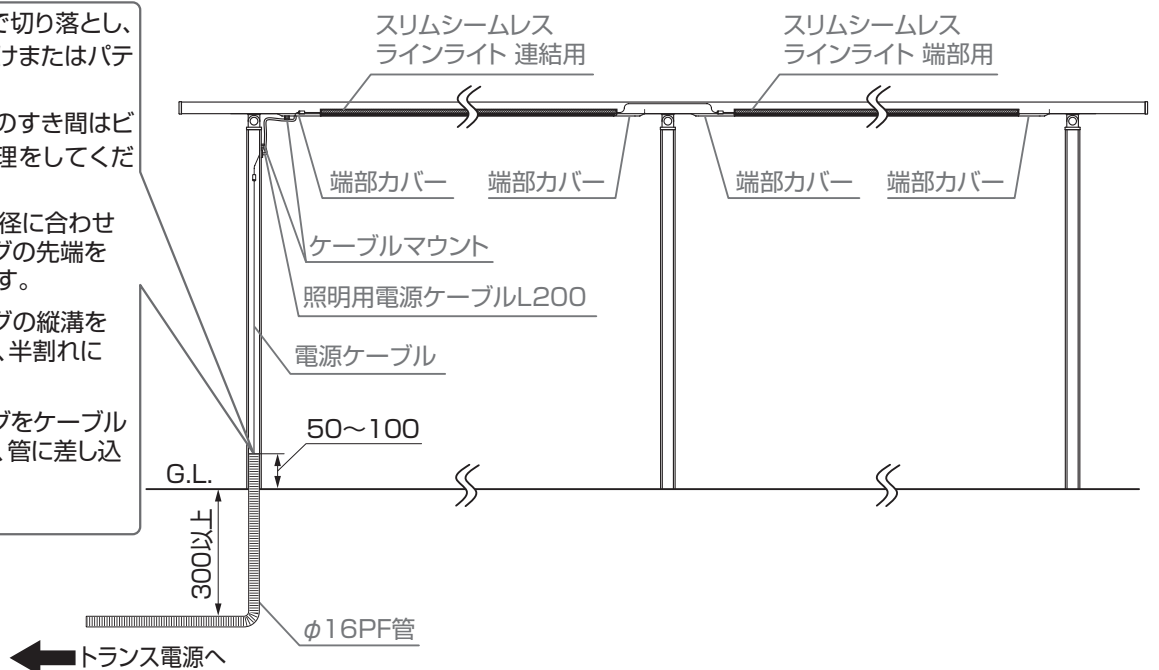
①ケーブル径に合わせブッシングの先端を切断します。



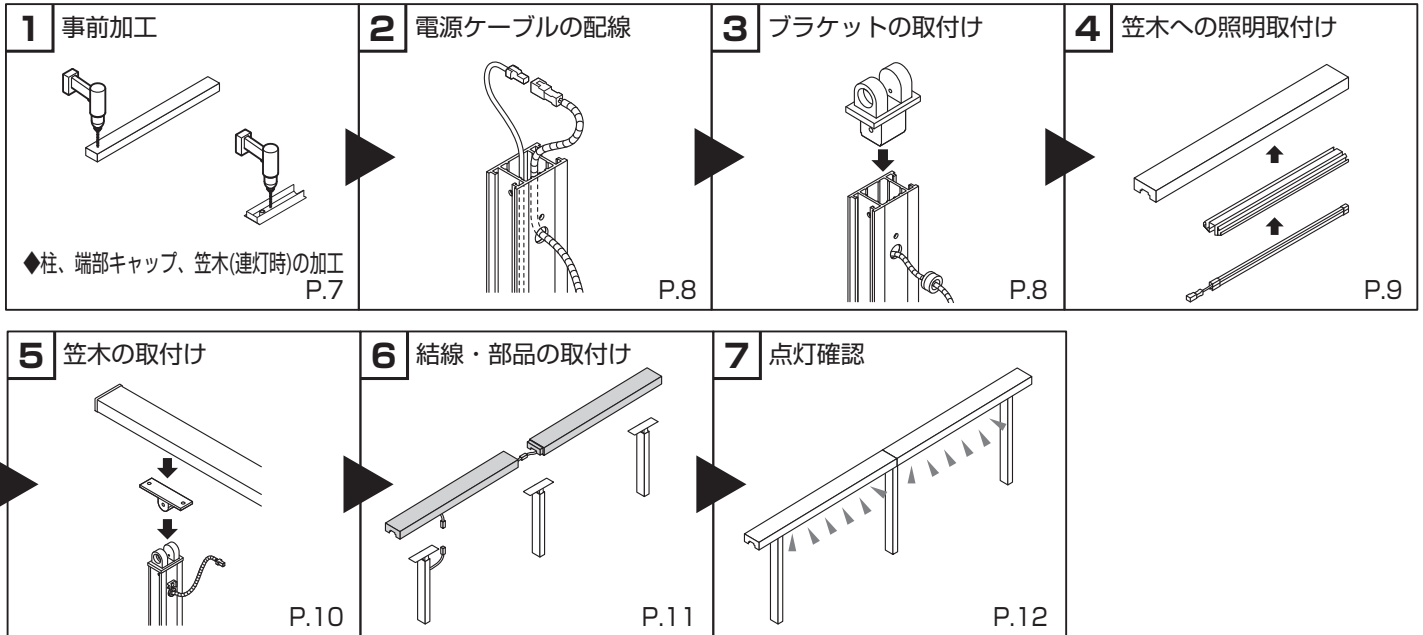
②ブッシングの縦溝を切り込み、半割れにします。



③ブッシングをケーブルにはさみ、管に差し込みます。



# 施工の流れ

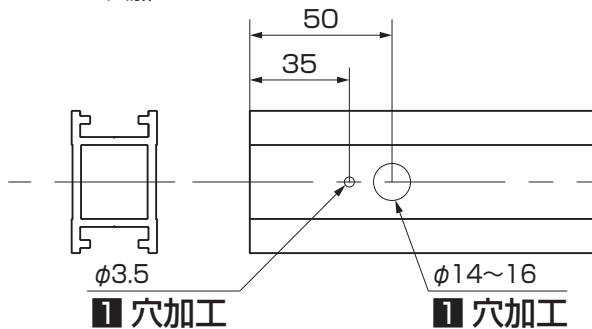


※規格ピッチではない場合またはストレートジョイントを使用する場合は **8 照明の切詰め** を先にご確認ください。

## 1 事前加工

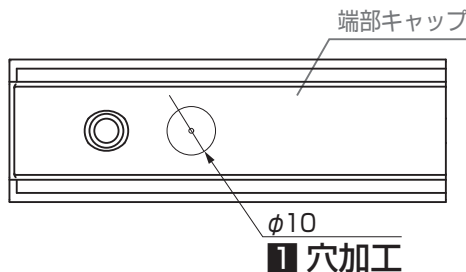
### 1-1 電源立上げ部の柱の加工

■:電源立上げ部の柱にケーブルマウント固定用φ3.5、配線用φ14~16の穴加工



### 1-2 電源立上げ部の端部キャップの加工

■:電源立上げ部の端部キャップ凹み部に配線用φ10の穴加工

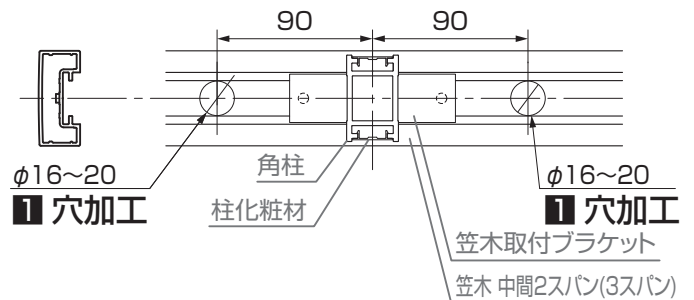


#### 施工上のお願い

●回転が早いドリルで開けるとキャップが割れることがありますので、ご注意ください。

### 1-3 連灯時の笠木の加工

■:笠木に連灯時の配線用φ16~20の穴加工

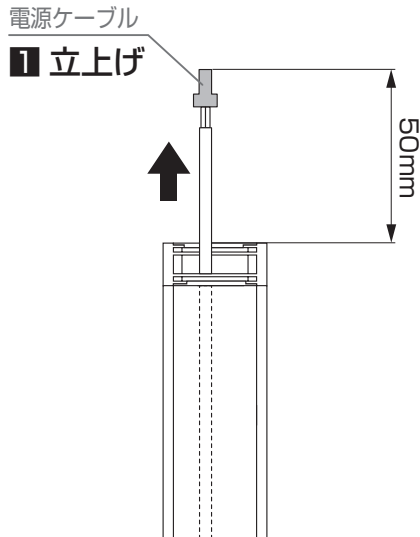


#### 施工上のお願い

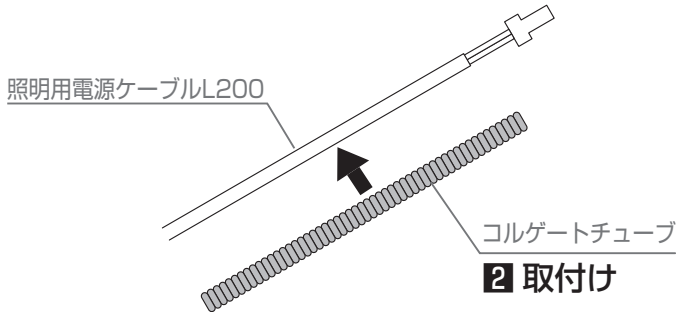
●照明の連灯ができるのは中間2スパン、3スパン用のみです。そのほかの仕様はストレートジョイントが取付くため、連灯はできません。

## 2 電源ケーブルの配線

1:電源ケーブルを柱上面から50mm立上げ



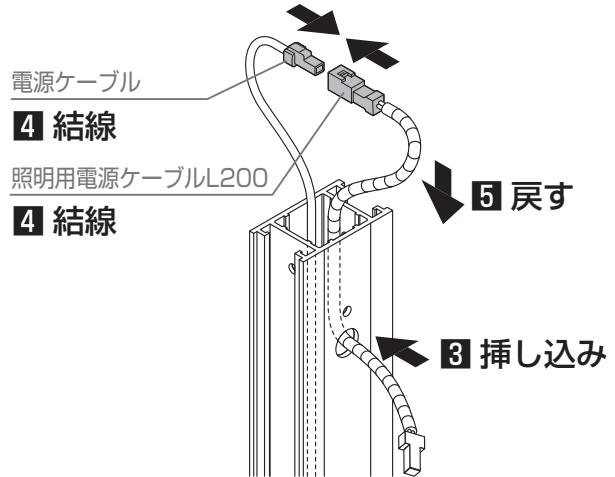
2:コルゲートチューブを照明用電源ケーブルL200に取付け



3:照明用電源ケーブルL200を電源立上げ部の柱の配線穴(φ10)に挿し込み

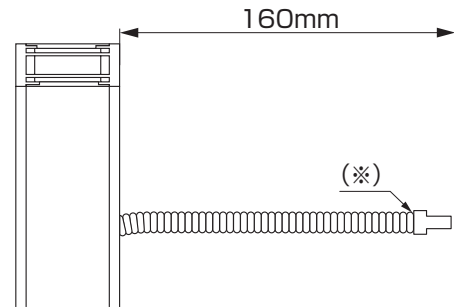
4:照明用電源ケーブルL200と電源ケーブルを結線

5:柱の中へ配線を戻す



### 施工上のお願い

- コネクタの根元までコルゲートチューブが覆うようにしてください。(※)
- 照明用電源ケーブルL200は配線穴から160mmになるように引出してください。



## 3 ブラケットの取付け

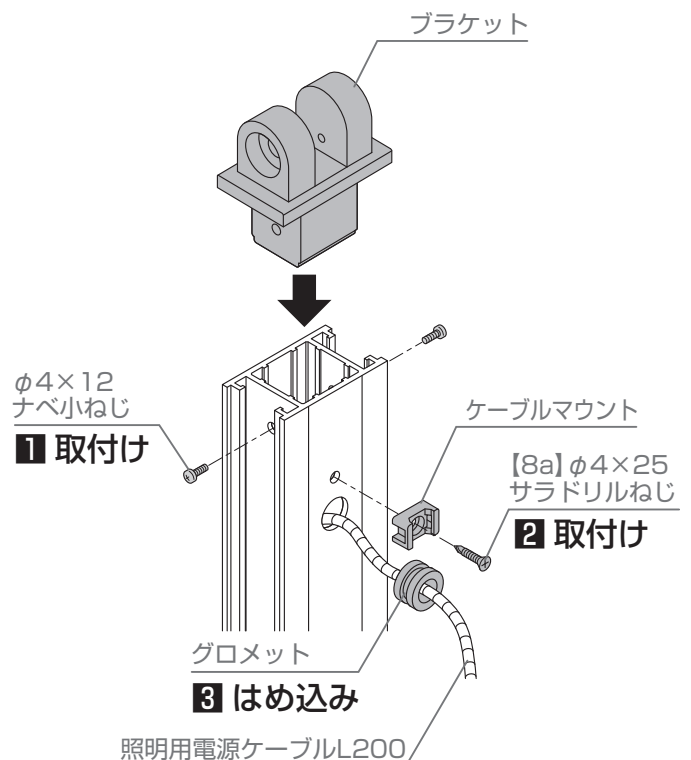
1:ブラケットをφ4×12ナベ小ねじで取付け

2:ケーブルマウントを【8a】で取付け

3:照明用電源ケーブルL200を通して、グロメットを柱にはめ込み

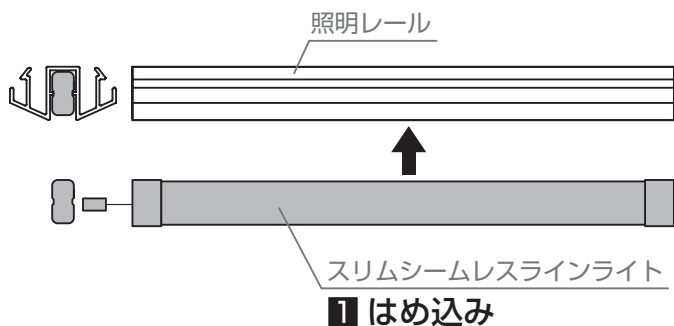
### 施工上のお願い

- ケーブルマウント取付時にねじでケーブルを傷付けないように注意してください。



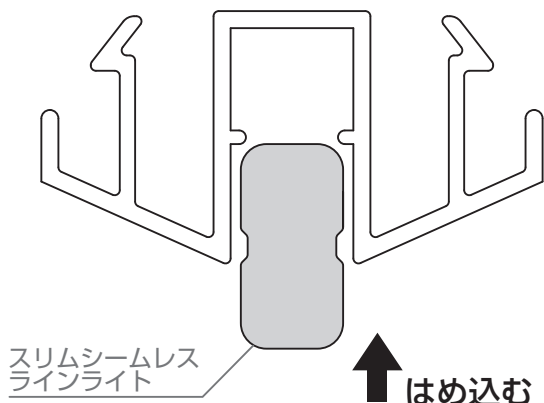
# 4 笠木への照明取付け

## 1: スリムシームレスラインライトを照明レールにはめ込み

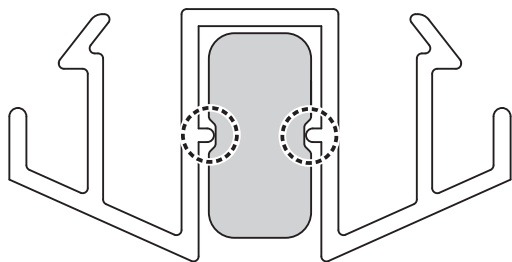


### 施工上のお願い

- スリムシームレスラインライトの挿入には向きはありません。
- スリムシームレスラインライトを一気に入れると基板が折れる可能性があるため、ライト全体を半分程度はめ込んだあとに奥まで入れるようにしてください。基板が折れると不点灯につながります。



- スリムシームレスラインライトの凹部と、照明レールの凸部(下図点線部)をしっかりと勘合させてください。

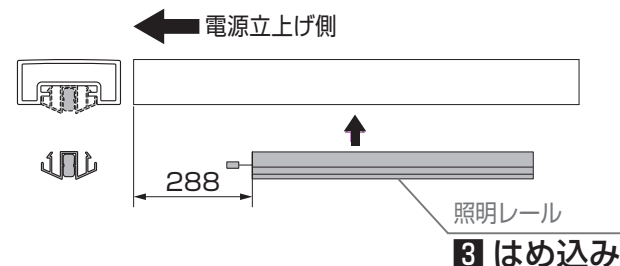


- 照明を切詰めた際は照明に合わせて照明レールを切断してください。切断後の端部はバリ取りをしてください。
- 点灯確認を行い、問題なく点灯することを確認してください。

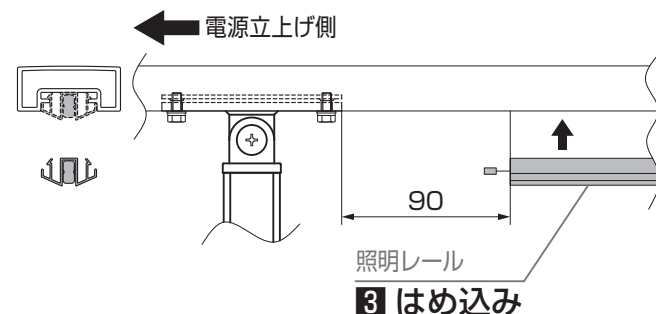
## 2: 溝ふさぎ材を取外し

## 3: 照明レールを笠木にはめ込み

### ■端部用・単体用の場合



### ■連結途中の電源立上げの場合



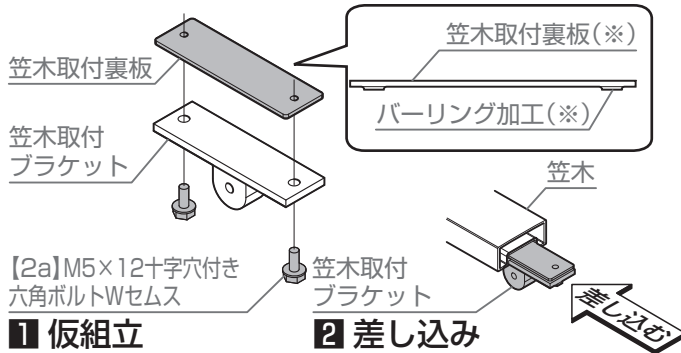
### 施工上のお願い

- 端部用、単体用は先に裏板を入れてください。後から裏板を入れることはできません。
- 配線の立上げのため、規定の隙間を確保してはめ込んでください。(片側:ブラケット端部から90mm確保)

# 5 笠木の取付け

## 5-1 笠木の固定

- 笠木取付ブラケットと笠木取付裏板を、【2a】で仮組立
- 仮組みした笠木取付ブラケットを笠木に差し込み



**1 仮組立**      **2 差し込み**

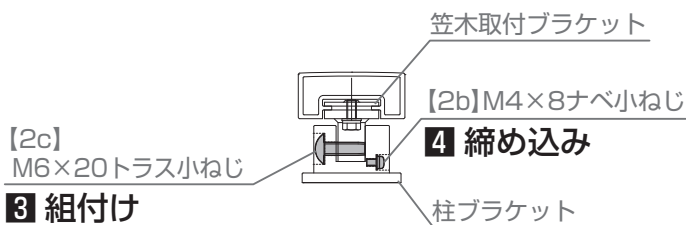
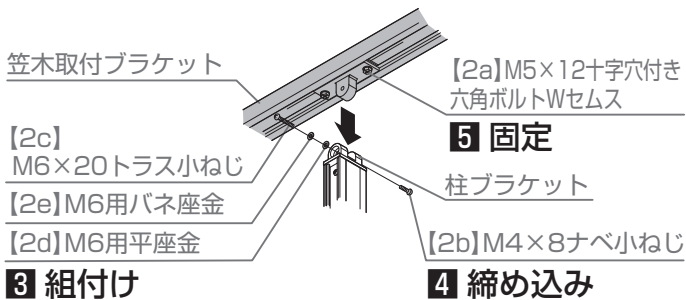
**施工上のお願ひ**

- 笠木取付裏板のバーリング加工側に来るようにしてください。(※)
- 電源立上げ側の笠木取付ブラケットとレールの間が90mmとなっていることを確認してください。

電源立上げ側      レール      笠木取付ブラケット

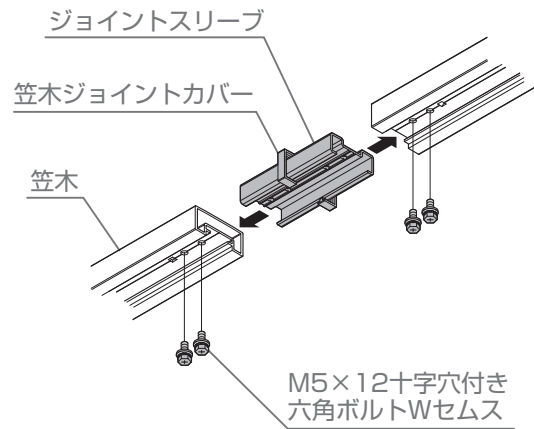
90

- 仮組立を行った笠木ブラケットを柱ブラケットにのせた状態で【2c】、【2d】、【2e】で組付け
- 【2b】を締め込み
- 【2a】を締め込み、笠木を完全に固定



## 5-2 ストレートジョイントの取付け

- 笠木ジョイントカバーを挟んだ状態で、ジョイントスリーブを2つの笠木内部に差し込み
- ジョイントスリーブと笠木をM5×12十字穴付き六角ボルトWセムスで固定



**▲ 注意**

- ストレートジョイントにて接続した部分から100mm以上200mm以内の位置に柱がくるようにしてください。適正な位置で固定されていない場合には、強度不足やガタツキが生じて危険です。

100~200      接続部      笠木

**施工上のお願ひ**

- ストレートジョイントがあるスパンには、スリムシームレスラインライト端部のみ取付けが可能です。
- ストレートジョイントに近い柱からの電源立上げはできません。

ジョイントスリーブ

照明用電源ケーブルL200      照明用電源ケーブルL200

# 6 結線・部品の取付け

1: 柱から出ている配線を端部キャップに通して、灯具と結線

## 施工上のお願い

●配線が露出しないように配線の長さを調整してください。

2: 配線立上げ部の端部キャップとケーブルマウントを[8a]で取付け

3: 配線をインシュロックで固定

## 施工上のお願い

●インシュロックのあまりは、ニッパーなどで切断してください。

●切断面は鋭利なため、やすりなどで丸めてください。

4: 笠木にキャップをM4×12ナベ小ねじWセムスで固定

5: 溝ふさぎ材および端部キャップを以下の表の寸法で切断

	部品名	寸法
A部	溝ふさぎ材	隙間合わせ
B部	溝ふさぎ材	柱芯~ジョイントスリーブ芯寸法+10mm
C部	端部キャップ	隙間合わせ ※キャップの残り寸法は40mm以上とする
D部	端部キャップ	切断なしで取付け

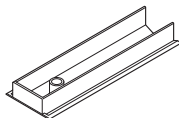
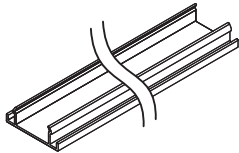
## 施工上のお願い

●切断後、バリ取りをしてください。

●部材は以下となります。

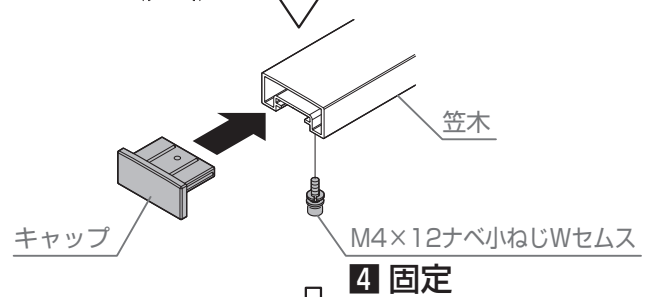
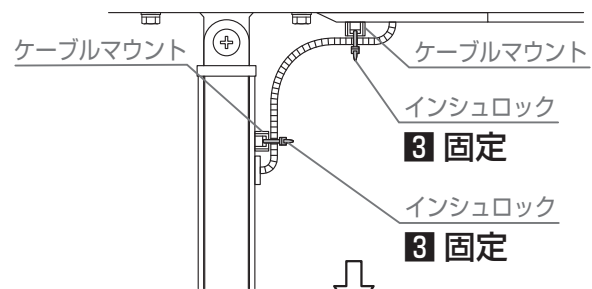
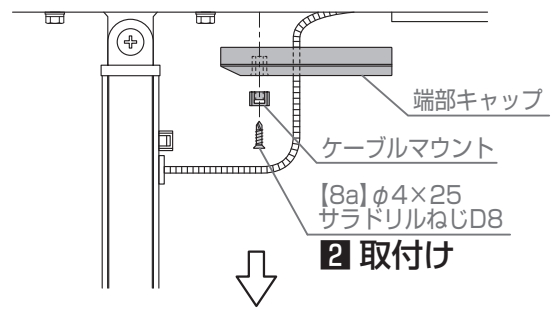
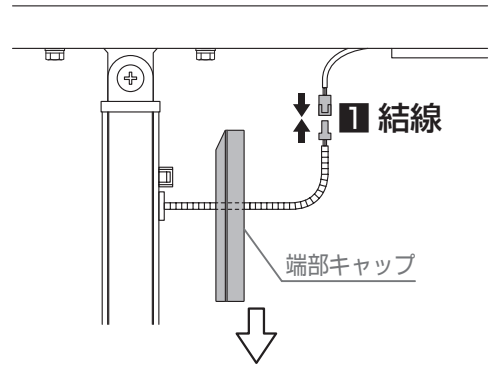
溝ふさぎ材(A、B部)

端部キャップ(C、D部)

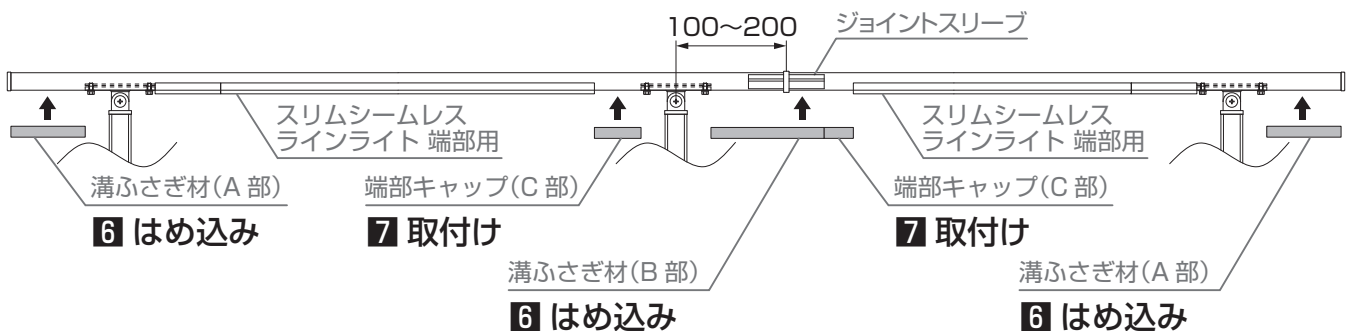


6: 溝ふさぎ材をはめ込み

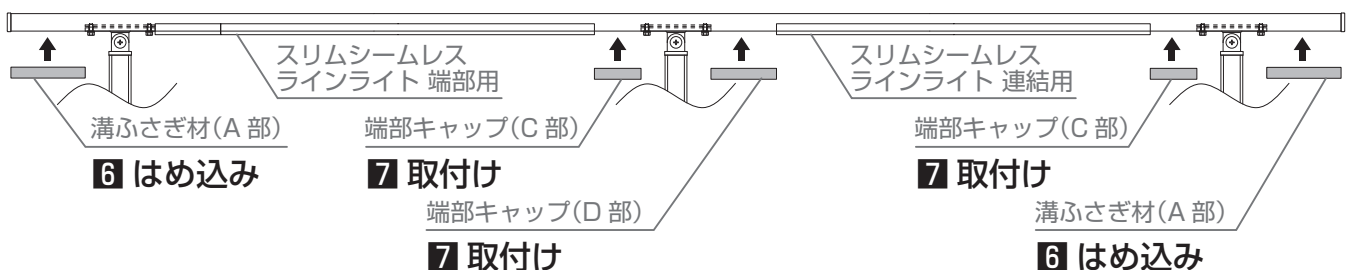
7: 端部キャップを[8a]で取付け



### ▼ ジョイントスリーブが発生する場合 ▼



### ▼ ジョイントスリーブが発生しない場合 ▼



# 7 点灯確認

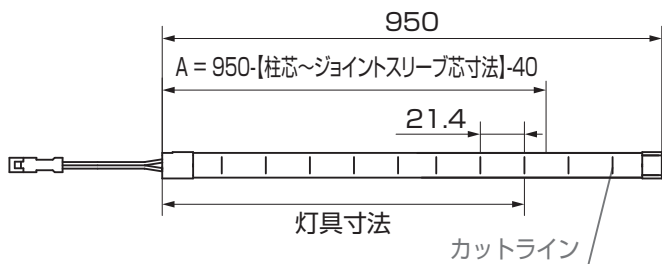
1: 施行後点灯確認を実施

## 8 照明の切詰め

### 8-1 ストレートジョイント部への照明取付けの場合

1: 以下の式の寸法で灯具を切断

$950\text{mm} - \text{【柱芯} \sim \text{ジョイントスリーブ芯寸法】} - 40\text{mm}$



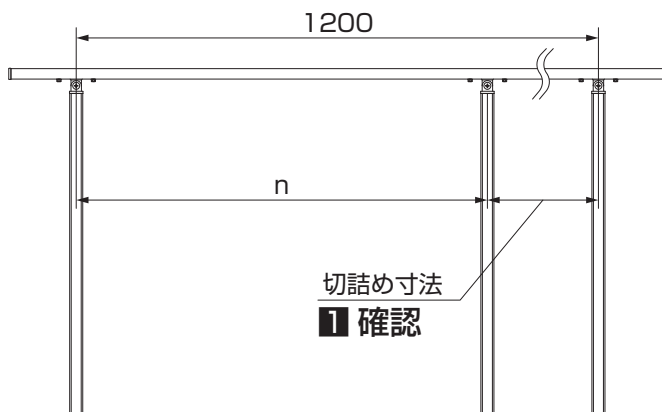
#### 施工上のお願い

- カットラインと寸法が合わない場合は、直近の電源側のカットラインで切断してください。
- 現場切詰めができるのは端部用のみです。
- 切詰め方法は取付説明書<EXM-125>「切詰め用キャップ」を参照してください。

### 8-2 端部の切詰めの場合

1: 以下の式の寸法で灯具を切断

$\text{規格ピッチ (1200mm)} - \text{現場ピッチ (n)}$



#### 施工上のお願い

- カットラインと寸法が合わない場合は、直近の電源側のカットラインで切断してください。
- 現場切詰めができるのは端部用のみです。連結用は特注で拾い出してください。
- 連結用の場合、例(切詰め: 200mm)の際は750mm以下の近似の灯具寸法で取付けてください。
- 切詰め方法は取付説明書<EXM-125>「切詰め用キャップ」を参照してください。

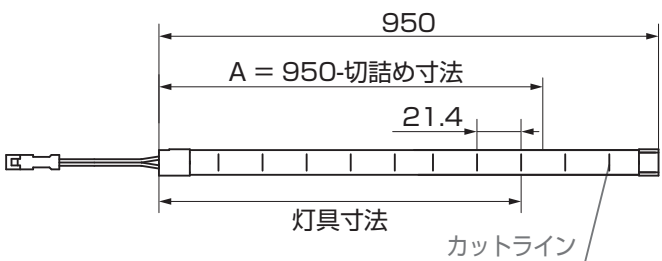
3: 灯具レールを灯具の長さに合わせて切断

2: 計算した寸法に合わせて灯具を切断

【例】現場ピッチ(n)を1000mmにした場合

柱ピッチの差(切詰め寸法):  $1200 - 1000 = 200\text{mm}$

切詰め後の灯具の寸法:  $950 - 200 = 750\text{mm}$



取説コード

EXM246

JZZ642394  
202602\_1049